

データベースのアップグレード手順

対象バージョン:SSC2.1

本手順は、SigmaSystemCenter 2.1で使用しているデータベースをSQL Server 2008、またはSQL Server 2008 R2へアップグレードする手順について記載しています。

アップグレードの対象となるのは、SQL Server 2005で作成されたDeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視の各インスタンスです。

注:

- ・ SigmaSystemCenter のインストール時に SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 のインスタンスを指定できません。SQL Server 2005 をインストールした後に本手順に従って SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 にアップグレードしてください。
 - ・ SigmaSystemCenter では、64 ビットネイティブ版の SQL Server はサポートしていません。
-

1. 事前準備

SQL Server 2005 に修正プログラムや最新の Service Pack が適用されていることを確認してください。Service Pack が適用されていない状態でアップグレードを実施すると、SQL Server 2008 へのアップグレードが中断されてしまい、正しく完了することができません。

SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 をインストールするためには、事前に Microsoft .Net Framework 3.5 SP1、および Windows Installer 4.5 以上が必要となります。インストール完了後、必要に応じて再起動を行い、変更を反映させてください。

2. DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のデータベースをアップグレード するには

DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor 性能監視のデータベースのアップグレードを行います。以下の節の順番でアップグレードを実施してください。

2.1. DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能 監視のサービスの停止

以下のサービスを停止してください。

- ◆ DeploymentManager API Service
- ◆ DeploymentManager Backup/Restore Management
- ◆ DeploymentManager Client Management
- ◆ DeploymentManager client Start
- ◆ DeploymentManager Control Service
- ◆ DeploymentManager Get Client Information
- ◆ DeploymentManager PXE Management
- ◆ DeploymentManager PXE Mtftp
- ◆ DeploymentManager Remote Update Service
- ◆ DeploymentManager Scenario Management
- ◆ DeploymentManager Schedule Management
- ◆ DeploymentManager Transfer Management
- ◆ PVMService
- ◆ System Monitor Performance Monitoring Service

2.2. SQL Server 2008 へのアップグレードインストール

DeploymentManager、SystemProvisioning、および SystemMonitor 性能監視のインスタンス名は、既定値ではそれぞれ「DPMDBI」と「SSCCMDB」です。各インスタンスを SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 へアップグレードするには以下に従って実施してください。

(SQL Server 2008 へアップグレードするには)

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=SQL.100\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=SQL.100).aspx)

(SQL Server 2008 R2 へアップグレードするには)

[http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=SQL.105\).aspx](http://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=SQL.105).aspx)

注:

- ・ 本書では、「Standard Edition」を「Standard Edition / Enterprise Edition」と読み替えてください。
- ・ SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 へアップグレードインストールを実施する前に、以下を参照して注意事項を確認してください。

＜SQL Server 2008 へアップグレードインストールする場合＞

「3.1 SQL Server 2008 Standard Editionを使用する場合の注意事項」

＜SQL Server 2008 R2 へアップグレードインストールする場合＞

「3.2 64 ビット版OSにてSQL Server 2008 R2 を使用する場合の注意事項」

2.3. 修正プログラム、Service Packの適用

以下のいずれかの方法で、アップグレードした SQL Server インスタンスに修正プログラムや Service Pack を適用してください。

- ◆ Windows Update を実行し、対象の SQL Server インスタンスに対して適用可能なすべての修正プログラムや Service Pack を適用します。
- ◆ SQL Server の修正プログラムや Service Pack をダウンロードし、対象のインスタンスに適用します。

2.4. DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視のサービスの開始

本手順「2.1 DeploymentManager、SystemProvisioning、SystemMonitor性能監視のサービスの停止」で停止したサービスを開始してください。

以上で SQL Server 2008、または SQL Server 2008 R2 へのアップグレードは完了です。

3. 捕捉・注意事項

3.1. SQL Server 2008 Standard Editionを使用する場合の注意事項

SQL Server 2008 Standard Edition を使用する場合の注意事項を記載します。使用する OS により注意事項の内容が異なります。使用する OS を確認してください。

- ◆ 32 ビット版 OS を使用する場合
「3.1.1 32 ビット版 OS を使用する場合」を参照してください。
- ◆ 64 ビット版 OS を使用する場合
「3.1.2 64 ビット版 OS を使用する場合」を参照してください。

3.1.1. 32 ビット版 OS を使用する場合

32 ビット版 OS にて SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2008 Standard Edition にアップグレードする場合、直接のアップグレードがサポートされていないので、以下の順番で SQL Server をアップグレードする必要があります。

1. SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2008 Express Edition SP1 へアップグレードします。
2. SQL Server 2008 Express Edition SP1 から SQL Server 2008 Standard Edition SP1 へアップグレードします。

注: アップグレードを実施する際に、以下の手順から進めてください。

「SQL Server インストール センター」画面の左ペインにある [メンテナンス] をクリックし、[エディションのアップグレード] をクリックします。

3.1.2. 64ビット版OSを使用する場合

64ビット版 OS にて SQL Server 2008 Standard Edition にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

＜SQL Server 2005 Express Edition からアップグレードする場合＞

SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2008 Standard Edition にアップグレードする場合、直接のアップグレードがサポートされていないので、以下の順番で SQL Server をアップグレードする必要があります。

1. SQL Server 2005 Express Edition から SQL Server 2008 Express Edition SP1 へアップグレードします。

注: Microsoft SQL Server 2008 Express Edition SP1 のインストーラは、Microsoft ダウンロード センターから SQLEXPRESS_86 (32ビットと64ビットの両方 (WoW) の OS へのインストールをサポートしているインストーラ) を入手してください。

2. SQL Server 2008 Express Edition SP1 から SQL Server 2008 Standard Edition SP1 へアップグレードします。

注: アップグレードを実施する際に、以下の手順から進めてください。

「SQL Server インストール センター」画面の左ペインから [オプション] をクリックし、表示された画面の [プロセッサの種類:] から “x86” を選択します。その後、左ペインから [メンテナンス] をクリックし、[エディションのアップグレード] をクリックします。

＜SQL Server 2005 Standard Edition からアップグレードする場合＞

SQL Server 2005 Standard Edition から SQL Server 2008 Standard Edition にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

- ◆ 「SQL Server インストール センター」画面の左ペインから [オプション] をクリックし、[プロセッサの種類:] から “x86” を選択します。その後、「2.2 SQL Server 2008 へのアップグレードインストール」から入手したアップグレードインストールの手順に従って、アップグレードしてください。

3.2. 64ビット版OSにてSQL Server 2008 R2 を使用する場合の注意事項

64ビット版 OS にて SQL Server 2008 R2 を使用する場合の注意事項を記載します。使用する Edition により注意事項の内容が異なります。使用する Edition を確認し、注意事項を参照してください。

- ◆ SQL Server 2008 R2 Express Edition を使用する場合
「3.2.1 SQL Server 2008 R2 Express Editionを使用する場合」を参照してください。
- ◆ SQL Server 2008 R2 Standard Edition を使用する場合
「3.2.2 SQL Server 2008 R2 Standard Editionを使用する場合」を参照してください。

3.2.1. SQL Server 2008 R2 Express Editionを使用する場合

SQL Server 2008 R2 Express Edition にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

- ◆ Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition のインストーラは、Microsoft ダウンロード センターから SQLEXPRESS_86 (32ビットと 64ビットの両方 (WoW) の OS へのインストールをサポートしている) を入手してください。
- ◆ Microsoft SQL Server 2008 R2 Express Edition のインストーラを実行する際は、コマンドプロンプトで「/X86」オプションを付けて実行してください。

3.2.2. SQL Server 2008 R2 Standard Editionを使用する場合

SQL Server 2008 R2 Standard Edition にアップグレードする場合、以下の点に注意してください。

- ◆ 「SQL Server インストール センター」画面の左ペインから [オプション] をクリックし、[プロセッサの種類:] から “x86” を選択します。その後、「2.2 SQL Server 2008 へのアップグレードインストール」から入手したアップグレードインストールの手順に従って、アップグレードしてください。

3.3. データベース (DPMインスタンス) のアンインストール

SQL Server 2008 へアップグレードを実施すると、SigmaSystemCenter のインストーラから「データベース(DPM インスタンス)」をアンインストールすることができなくなります。アンインストールを実施する場合には、以下の手順に従ってください。

＜Windows Server 2008 の場合＞

1. コントロールパネルより、「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「Microsoft SQL Server 2008」、または「Microsoft SQL Server 2008 R2」を選択して、[アンインストール] をクリックします。指示に従って「DPMDBI」インスタンスのアンインストールを実施してください。

＜Windows Server 2003 の場合＞

1. コントロールパネルより、「プログラムの追加と削除」をクリックします。
2. 「Microsoft SQL Server 2008」、または「Microsoft SQL Server 2008 R2」を選択して、[削除] をクリックします。指示に従って「DPMDBI」インスタンスのアンインストールを実施してください。

作成日:2010/05/07
最終更新日:2010/09/13